

令和4年度 組織重点目標一覧

係名	具体的目標	達成水準	達成状況
農林水産係	地域の特性を生かした持続性のある第1次産業経営者の育成を図るとともに、農地の利用集積・集約化を進めることにより効率的かつ安定的な第1次産業経営を促進する。	1 担い手の増加を促進する計画人数：2名 2 利府梨振興に係る品種更新及び新植・改植支援 品種更新本数：200本 3 利用権設定面積の増加面積：2ha 4 森林経営管理権集積計画策定に向けた経営管理意向調査対象者数：400名 5 地域おこし協力隊の新規採用者数：2名	1 新規就農者は1名であったが、地域おこし協力隊からの初めての就農であることから、引き続き支援をしていく。 2 梨農家24名に対し、主力品種である「あかづき」87本を含む12品種130本の更新を行った。目標には達成しなかったものの、早生品種から晩生品種までの分散が行え、農繁期の分散と長期の販売が期待できる。 3 利用権設定面積は6ha増加し、全体で43haとなり、目標を上回ったものの、離農者の増化によるものであり、農家の担い手不足が要因となっている。 4 対象者数が18名と目標より大きく減となったが、土砂災害警戒区域を重点に調査したもので、次年度以降も危険個所を優先に意向調査していく。 5 新規採用人数は0人であった。募集を通年行うことや首都圏での相談会などに積極的に参加し、協力隊の募集を行う。
農水施設係	生産基盤である農道、ため池、堰等用排水施設や漁港施設の整備や適切な維持管理を行うため、定期的な施設の点検に努め、苦情・要望等迅速に対応する。さらに、大雨など災害が予測される場合においては、ため池等の用水調整を行い被害の軽減を図る。	1 明神沢溜池改修事業の改修方法選定し実施設計書作成 2 浜田・須賀漁港機能保全計画による点検を行い点検判定表に基づき修繕の実施 3 情報共有等を行うことで用排水施設や漁港施設での事故件数0件 農業用施設の安全点検を実施し看板を設置する。40箇所	1 改修事業の改修方法を洪水吐拡張工に決定し、ため池の調査測量業務まで完了した。次年度に、実施設計、工事発注を行う。 2 点検の結果修繕が必要とした箇所は7箇所、内6箇所の修繕を行った。 3 用排水施設や漁港施設での事故件数は0件であり、引き続き安全管理に努める。 4 安全点検箇所は39箇所行い、32箇所に看板等の設置を行った。
農地係	遊休農地の活用を推進するとともに、農地の利用集積・集約化を進めることにより、効率的かつ安定的な農業経営を促進する。	1 利用権設定面積の増加：2ha増加 2 遊休・荒廃農地の面積軽減：2ha軽減	1 開発などにより農地が減少したものの、利用権設定面積は37haから6ha増の43haとなった。 2 遊休・荒廃農地面積は、21haから10ha減の11haとなり軽減した。農地の保全管理が増えたことにより、軽減につながった。